



初等部だより 9月号

鎌倉女子大学初等部

令和4年9月1日

第5号

今、出来ることを全力で

部長 勝木 茂

残暑は今しばらくは続きそうですが、朝夕の風の爽やかさに少しずつ秋の気配を感じる頃となりました。

今日から二学期がはじまりました。

本日、全教室へのライブ配信（みらいスクールステーションを使用）にて始業式を行いました。このスタイルの始業式も早3年目となります。松本講堂に全初等部生が一堂に会しての始業式を経験しているのは4年生以上となりました。その4年生や5年生も入学して一度も宿泊学習を体験できてはいません。コロナ禍の中、健康安全を最優先にすることは当たり前のことと考えます。しかしながら、望ましい集団活動を通して身に付く、友達との一体感や集団の一員としての自覚、そしてみんなで成し遂げた感動体験をこの小学校時代に味わってほしい、それは子どもたちの将来に向けての大きな財産となる、そう考えるのはわたしだけではないと思います。

今夏の甲子園大会（全国高等学校野球選手権大会）、コロナ禍の中、全力で取り組む高校生たち（野球部のみならず応援団、プラスバンド部等々）の姿に感動した方はたくさんいらっしゃると思います。頂点に立った仙台育英高校の須江監督が優勝インタビューで（以下、括弧内引用）「高校生活は僕たち大人が過ごしてきた高校生活と全く違うんですが、青春ってやっぱり密なので、そういうことは全部ダメだダメだと言われて、活動していてもどこかでストップがかかって。どこかで止まってしまうような苦しいなかで、本当に諦めないでやってくれた。」と述べられていました。

わたしは、全くその通りだと思いましたし、それは小学生にとっても同じであり、特に低学年の子どもたちは、入学した時からこのような状況であり、そこにあまり疑問を感じることも無く、これが当たり前でふつうであるとさえ思ってしまうのではないかと感じることもあります。

このような状況がいつまで続くのかはわかりませんが、一人一人の子どもにとって、かけがえのない小学校時代を送ることが出来る

ようにしていくのは大人の責任であると思います。コロナ感染状況は今しばらくは高止まりとなりそうです。初等部では、健康安全を最優先とする方針に変わりはありませんが、子どもたちが「今、出来ることを全力」で取り組み、そこから多くのことを学び、一人一人のかけがえのない小学校時代となるよう、教育課程や授業、学校行事等の内容や実施方法を今まで以上に柔軟に考えていきたいと思えます。特に、9月中旬に予定していました1年生～3年生の遠足、4年生・5年生の宿泊体験学習については、中止とはせず11月上旬から中旬に延期とさせていただきます。

（本日発出いたしました「1年生～3年生遠足、4年生、5年生宿泊体験学習の延期について」にてご確認ください。）また、学習発表会につきましても、コロナ前と全く同じような形式とはなりません、感染防止策をとった上での実施を予定しております。（本日お知らせを発出しております。）



西館2F・3F・4Fに増設された手洗い場

これまでもお願いしておりますように、保護者の皆様には、一学期同様、登校前のご家庭での検温をはじめとするお子様の健康観察を十分に行っていただき、風邪症状（発熱、咳、喉の痛み等）がある場合は医療機関での受診やご自宅での休養などをお願いいたします。万一、感染した、濃厚接触者となった、PCR検査を受けることとなった等があった場合、お子様やご家族のプライバシー保護には最大限の努力をいたしますので、できる限り速やかに初等部までご連絡いただきますようお願いいたします。